

受験生の皆さんへ

『 樹木が育ったり枯れたりする仕組み 』

山形大学農学部森林科学コース

准教授 吉村 謙一 (YOSHIMURA, Kenichi)



写真：小笠原の調査地で乾燥により枯死した樹木

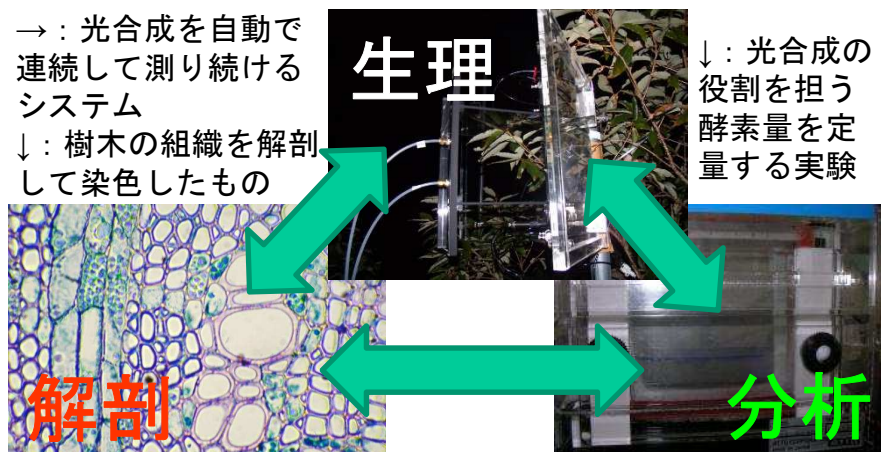


写真：大阪の調査地で伐倒したカシの年輪円板

内容;野山を歩いていると大きく育った木やあまり育っていない木、あるいは何らかの要因で枯れてしまった木を見ることがあると思います。

樹木は光合成で取り入れた炭素を呼吸として放出し、根で吸収した水を葉の蒸散で放出します。こうした機能(生理機能)が健全だと樹木は生長し、不健全だと枯死につながります。そこで私たちは生理機能を測定することで樹木の健康診断をおこない、樹木が生長あるいは枯死する詳細なメカニズムとその定量的な評価をおこなっています。

また、このような測定と毎木調査や年輪解析を組み合わせることで、植生遷移を含めた森林動態の把握や、失敗しない森づくり方法の提唱といったことに応用できると考えています。



専門分野: 森林生態学、樹形解析、植物生理生態学
 自己紹介: 2017年4月に赴任しました。
 これから山形の森でも調査を始めたいと思います。

連絡先: 0235-28-2933

e-mail : shimuken@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

